

## 新規事業の構想とその事業における知財の役割の認識・人材育成

部門Aと部門Bのそれぞれで、経営デザインシートを活用して新規事業を構想するワークショップを開催。今後、新規事業の構想や人材育成の場面で活用することを検討。

### 【ワークショップ】

1 グループ5～6名でグループワークを実施

■STEP1：新事業の題材を決める

■STEP2：これまでの振り返り

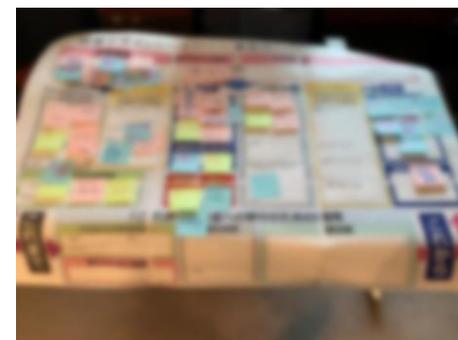
・自社ならではのもの（特徴・強み等）は何か

■STEP3：将来の構想

・これから提供する価値を検討

・将来の環境分析

・これからの価値を生み出すしくみを検討



作成途中のシート（一例）

## 経営デザインシートを活用した感想・効果

- ・会社や事業、社会について知らないことが多いことに気づくことができた（部門A）
- ・知財の重要性や価値について多くの方に認識いただけると思った（部門A）
- ・企業理念や風土も知財と認識することは、気づきになった（部門B）
- ・1枚にまとめることが非常に重要。コミュニケーションツールとしてどのように生かすか設計したうえで活用したい（部門B）
- ・経営層が捉える経営デザイン、事業部・開発現場が捉える経営デザインのギャップを認識した上で、全社戦略を立案するツールとして活用できる（部門B）